

商学部

ディプロマ・ポリシー

商学部は、ビジネス・ヒューマン・バリューを高めることを教育目標とし、本学マゼースクールとしての実績と伝統を踏まえつつ、商学とその関連領域に関する学術研究・教育を行うことによって、激動するビジネスを担う人材の育成に努めてきた。

商学は、生産から消費に至る一連の経済活動をその機能・制度に着目して理論的・実証的に考察し、以て質量ともに豊かな社会の実現を目指す学問体系である。今日、ダイナミックに展開するビジネスの現状に鑑みて、こうした高度な専門知識に加えてさらに幅広い豊かな教養を身につけることにより、高い職業倫理観に裏打ちされたところの的確な分析力・判断力・行動力を有するビジネス・パーソンが必要とされている。

本学部は、こうした時代の要請に応えるべく、内外ビジネスをリードする人材の育成に努め、学位を認定してきた。本学部は創設以来60年に亘り約4万人強の卒業生を今日まで輩出してきているが、彼らの多方面における活躍振りが上述した学部教育理念に対する卓越した社会的評価結果にも反映されていると言える。

カリキュラム・ポリシー

商学の多岐に亘る専門領域を体系だてて教授するために、①流通・マーケティング、②会計・金融、③ビジネス情報の3コース制を採用する。こうしたコース制のもと、講義形式による専門科目教育に加え、問題発見型・問題解決型学習法の少人数による演習(ゼミ)制度を2年次秋学期から導入し、教育効果を高めている。

現在のビジネスは、グローバル化、情報化、自由化が顕著である。したがって、こうした現実のビジネス動向に対応して、本学部では、流通・マーケティングや会計・金融といった言わば商学教育の要諦とも言うべき伝統的専門分野に加え、国際ビジネス(語学を含む)、情報通信技術(ICT)、リスク管理といった新たな教育分野の充実も図れるようなカリキュラム編成をしている。

このように、本学部では時代のニーズに即応した専門的ビジネス・エキスパートズを入学初年次から4年間に亘って習得させるとともに、さらにビジネス最前線で活躍する経営者・実務者の担当科目履修によって実践力や応用力を磨かせ、現実ビジネスで優れた成果を挙げ得る専門職職業人育成の教育課程を編成し実施している。

さらに意欲ある学生には、大学院商学研究科の設置する科目を学部段階で履修できる制度が設けられている。また、学部3年を終了後、直ちに商学研究科に進学し、5年で修士号取得が可能な一貫教育制度(飛び級制度)も併せて設けられている。その他、インターンシップ制度や海外語学研修・留学制度、早期キャリア教育などの各種教育制度が、学生の経験や関心の幅を広げることに役立っている。

アドミッション・ポリシー

①ビジネスを通して社会に貢献することのできる人材の育成を目指しています。

したがって、実学を通じて「ビジネス」や「社会」とのつながりについて学び、将来もこうした分野でその学びを活用したい人の受け入れを目指します。

②「商学」と「情報」とを融合することで、多様化するビジネス社会のニーズに応えることのできる人材の育成を目指しています。

したがって、実学を通じて情報処理能力をビジネスに活用する方法について学び、将来も社会でその学びを活用したい人を期待します。